

だんないの道

第60号



2024年7月5日発行

発行者:NPO 法人 CIL だんない

代表者:美濃部裕道

連絡先:〒529-0423

滋賀県長浜市木之本町千田681番4

TEL :0749-50-3639

E-mail:info@cil-dannai.jp

代表あいさつ P1	第14回定例総会報告 P3
活動報告 P33	ちょこっと紹介！ だんないブログ P34
編集後記 P36		

代表あいさつ

すがすがしい日々が続き、新緑が映えわたる横山岳や湧出山（ゆるぎやま）に囲まれただんないは、この時期なんとも言えない心地よさに包まれます。その風景をのぞみながら駐車場で夕暮れ時にたたずむひとときは味わい深いものがあります。そんな5月に子供会さんや民生委員さんと一緒に行ったサツマイモの苗植えや、例年は7月に開催しているBBQが出来たことは、気候に恵まれて運が良かったなと感じています。

今年も定期総会が5月27日に開催され、会員の皆様のご協力のもと無事終了することができました。ご出席いただきました皆様や委任状を送っていただいた皆様に改めて感謝申し上げます。資料は後頁に掲載しておりますので、お読みいただければと思います。

6月に入り、梅雨に入るかと思いきや、なかなか入らず雨より先に猛暑がやってきました。うだるような暑さの中で、エアコンをつけるかつけないか葛藤しています。4月に立ち上げた「わだちプロジ

エクト」の初イベント「支援者塾」が、6月1日に黒壁スクエア一帯で開催されました。圏域の支援者の方を対象としながら、随時観光客や地域の方々にも当事者体験をしていただきました。首から下が動かせないという前提で、手動車椅子に乗って介助を受けてもらったり、電動車椅子に乗って幅の狭い手作りドアを通ってもらったりと趣向をこらした内容を考えました。参加された方からは「どこ



まで頼んだらいいかわからなかった」とか「関係性ができていない中で頼みづらかった」など、参加の意義深さが聞かれました。参加者の皆さんには、参加賞として長浜農業高校で作られたイチゴジャムを、つるやパンさんのご協力によりパンでサンドしていただいた「サンド WADACHI」をお渡しし、わだちプロジェクトにしたための思いをお伝えしました。秋ごろにはアルプラザ平和堂長浜で第2回を開催する計画です。国スポ・障スポを機に、バリアフリーやユニバーサルデザインが湖北圏域で推進されるように、私たちができることをひとつひとつ取り組んでいきたいと考えています。

総会など法人にとって大きなヤマを越え、私の中ではこの時期から新年度がスタートするという感覚です。映画会や夕涼み会、だんない祭りなど本腰を入れて準備にとりかかることができます。初の試みとなる映画会では、湖北地域に伝わる五穀豊穡を祈る神事「オコナイ」が取り上げられた30年ほど前の映像を上映する予定です。現在、そのチラシ完成に向けて取り組んでいるところです。

先日、その映像をだんないで試写し、一足先に見させていただきました。私も知っている若いころの近所のおじさん・おばさんたちが映っていました。改めて「伝統って、こうやって受け継がれていくんだな」と感じさせられました。「だんない」や「わだちプロジェクト」の活動展望に思いをはせながら、「僕らの理念も誰かに受け継がれたらいいな」と、オコナイでお餅をついておられるおじさんのように、静かな闘志を燃やしていました…。

美濃部 裕道 (みのべ ひろみち)

2023年度事業報告

NPO法人CILだんない

ーはじめにー

昨年度の事業数を上回る**301**の取り組みを行いました。「**長浜市フラット化計画2040**」に基づく「**インクルーシブ化構想企画**」や「**子どもまんなか企画**」の取り組みを推し進めることができました。これにより、**長期間で体系的なビジョン**を共有しながら実行することができました。

また、2年前から取り組みを始めている、**さざなみ体制の基盤整備**も一步一步着実に進められています。実地指導や義務付けられている委員会開催に向けた取り組みも、**さざなみとして遂行**できるようになりました。徐々に**重度化する当事者職員への負担低減**にもつながっています。

14年目を迎え、私たちはアラフォー世代になり、以前のように**ハイペースで活動**することが厳しくなってきました。適度に休日をとるなど、心身ともに**リフレッシュしながらの息の長い活動**をすべく、生活・活動のあり方を見直しています。

バリアフリー基本構想策定、バリアフリーマップ作成、支援者向け生活塾開講、インクルーシブ化構想企画の定番化など、**2024年度も**私たちのミッションは盛りだくさんです。引き続き、**緊張感・危機感と長期ビジョン**を持って、取り組む所存です。

2023年度 障害福祉サービス及び介助者派遣事業報告 (1)

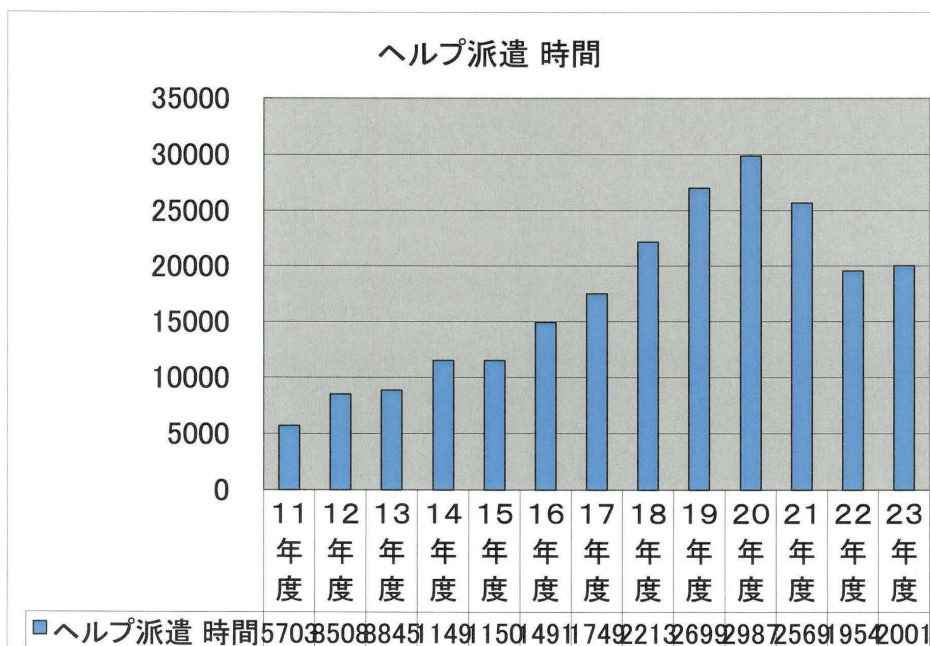
・ 成果

- 「さざなみ」が開所し、13年が経ちました。
- 介助者職員は現在15名です。
- 利用者はこれまでと同様に脳性麻痺や視覚障害者がおられました。
- 施設から出られた利用者の地域生活も定着しました。
 - ・ 職員の離職はなくなり、基盤が安定し、常時介助が必要な方の自立生活を継続して支援できました。
 - ・ コロナの影響もなくなり、外出介助・余暇介助を含め、利用者の自分らしい生活をサポートすることができました。

提供時間数

- ・ 2022年度⇒19543時間(内、移動5976.5時間)
- ・ 2023年度⇒**20015**時間(内、移動 6232時間)

前年数値目標20000時間 新年度目標20000時間





2023年度 ヘルパー育成事業報告(1)

・ 成果

- 計画的で、だんならしい研修を実施
 - 例年のように計画的に研修を実施しました。
 - 法定研修として虐待防止・身体拘束についてや、事業継続計画(BCP)についてなど事業所が実施すべき内容が課せられる中での開催でした。
 - それでもボディメカニクスや調理研修など、実際のヘルプの中で役立つ内容も織り交ぜるなど、工夫しました。

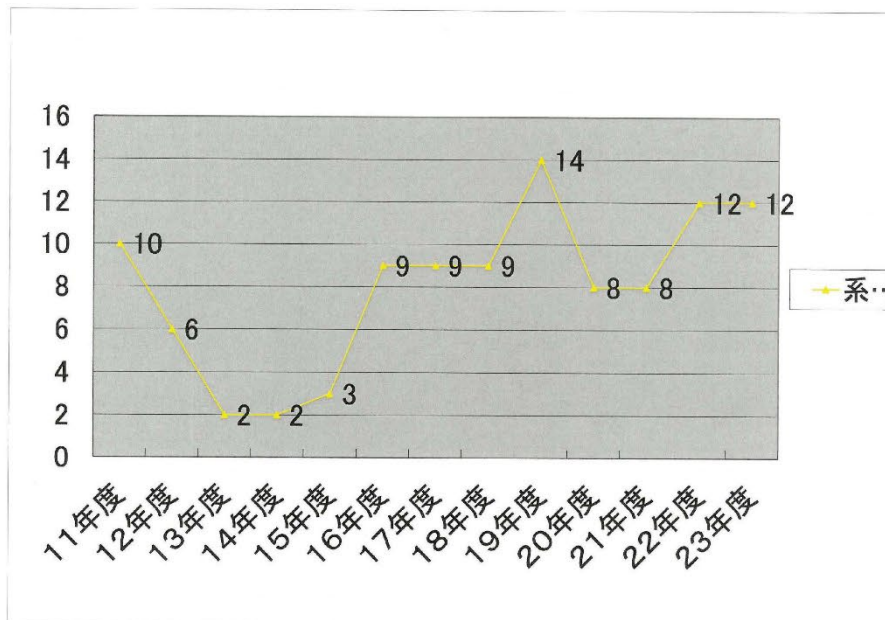
2023年度 ヘルパー育成事業報告(2)

・ 次年度への課題

- 今後も計画的に**法定研修の実施**と**だんないなら**
ではの内容をミックスしながら開催したいです。また、**個々に応じた課題**に取り組める研修も実施したいです。

・ 主な活動報告

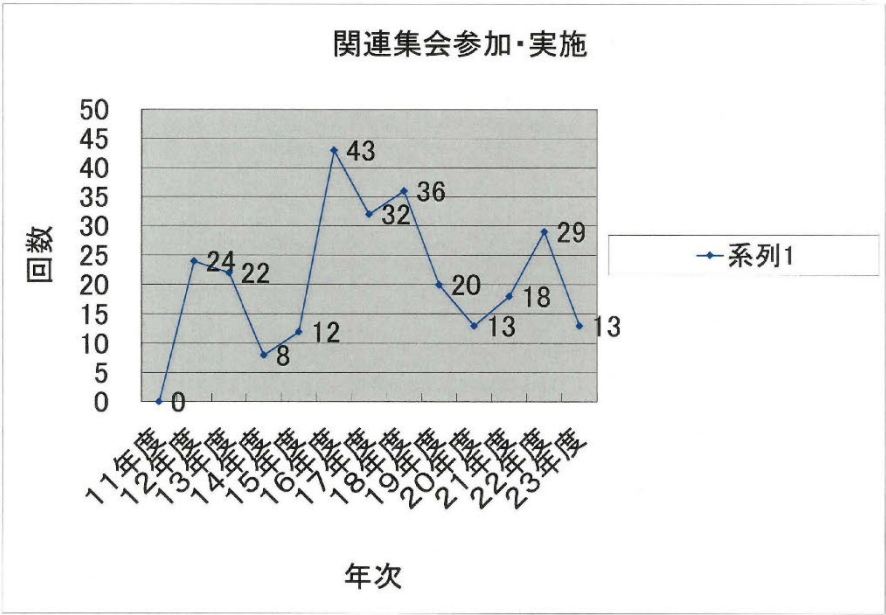
- 研修会実施 全12回(前年度12回、横ばい)
前年度数値目標 12回 今年度数値目標 12回





2023年度 障害者の権利擁護事業報告(1)

- **成果**
 - 2023年度から実施された「共生社会サポーターステッカー」についての意見交換を滋賀県と二度行いました。
 - 滋賀県旧優生保護法情報公開請求訴訟は高裁に移り、二度の裁判傍聴に行きました。5月に結審が出る予定です。
- **課題**
 - 今後も可能な限り、いろいろな方面での活動を展開したいです。
- **主な活動報告**
 - 関連集会 全13回（前年度29回 55%減）
前年度数値目標 30回 新年度目標 15回
 - ケース会議への出席 全2回（前年度17回 88%減）
 - 行政アクション 6回（前年度8回 25%減）



2023年度
障害者の地域における自立生活保障事業報告
(1)

・ 成果

- 昨年に引き続き、重心障害者通所施設へのピア活動と「地域生活塾」への参加を積極的に行いました。
- 外部研修も定期的に参加しました。
- 昨年度、行っていた「ビワイチ企画」から23年度は県内各所へのバリアフリー調査に切り替えました。
- インクルーシブ化構想企画も年間を通して実施しました。

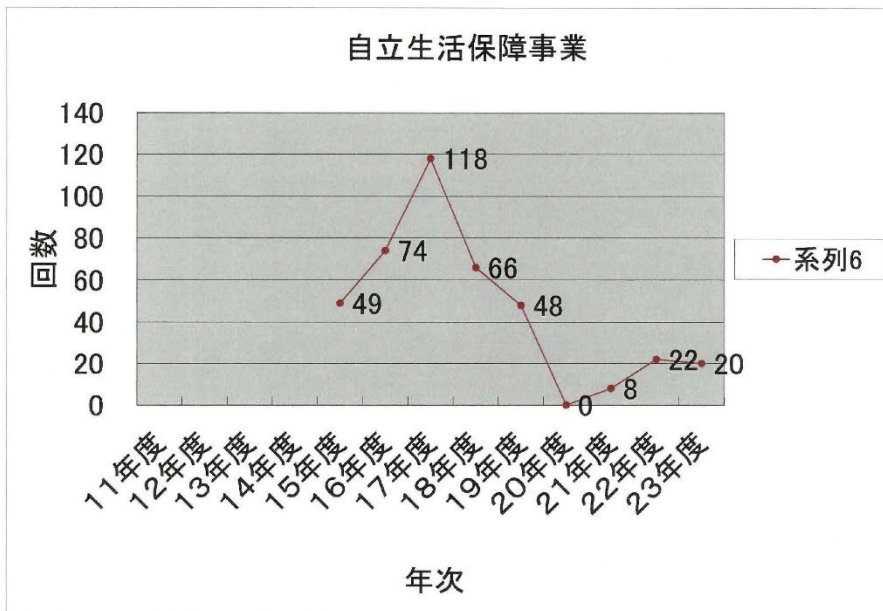
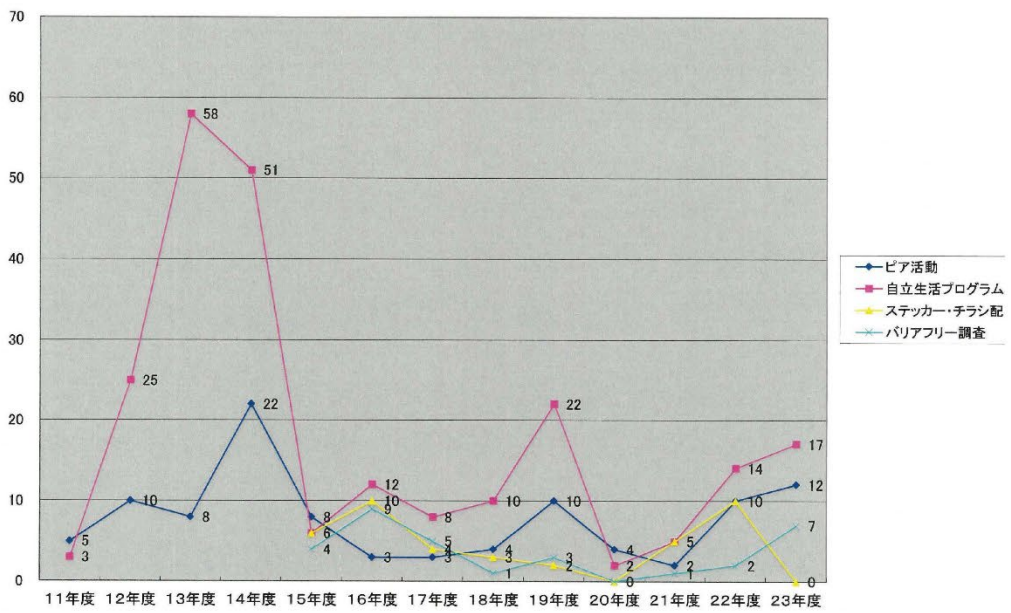
・ 次年度への課題

- より多くの方々と協力しながら、より有効な活動を展開したいです。

2023年度
障害者の地域における自立生活保障事業報告
(2)

・ 主な活動報告

- 自立生活プログラム 全56回
(前年度59回 5%減)
- ピア活動 12回 (前年度10回 20%増)
前年度数値目標 12回 新年度目標 12回
- 内部自立生活プログラム 17回 (前年度14回 21%増)
前年度数値目標 12回 新年度目標 15回
- 啓発チラシ配り 0回 (前年度10回)
前年度数値目標 10回 新年度目標 2回
- バリアフリー調査・研修 7回 (前年度2回 3.5倍)
前年度数値目標 3回 新年度目標 8回
- 外部研修 20回 (前年度22回 9%減)
前年度数値目標 25回 新年度目標 22回





2023年度 余暇活動保障事業報告(1)

・ 成果

- コロナが第5類に移行し、すべての事業が**4年前の水準**で取り組むことができました。内容も**バージョンアップ**し、皆さんに楽しんでもらうことができました。
- ふたつのサロンは**地域の高齢者の方**に定着し、参加者も徐々に増えています。「喫茶だんない」も好評でした。
- サラダパンカップは**聖泉大学の学生さんのモルック活動ともコラボ**し、子どもさんや地域の方々に**障害者スポーツをPR**することができました。
- **みんなスナック、ネイルサロン、園遊会**といったマルチスイッチさんとのコラボも活動の輪が広がっています。

2023年度 余暇活動保障事業報告(2)

- 次年度への課題

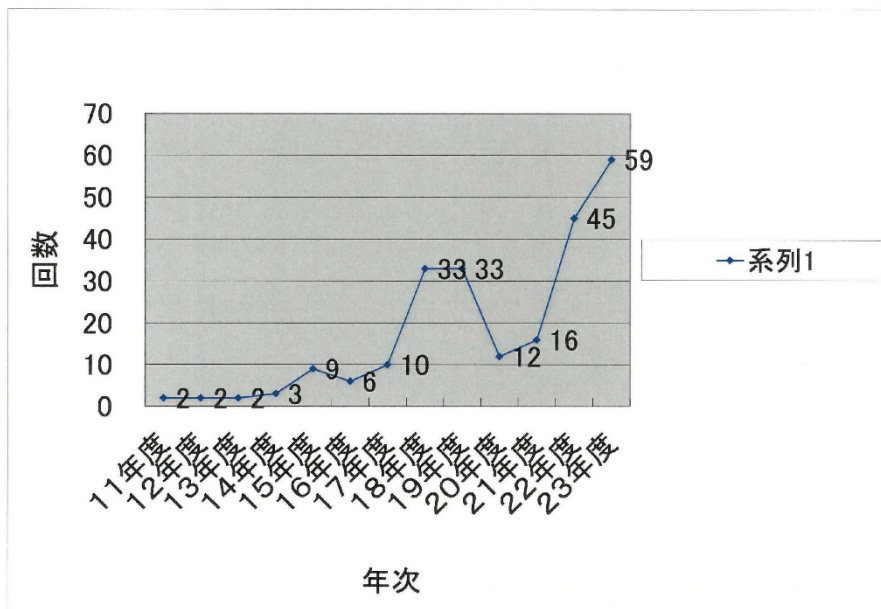
– ピープルイベントや、色々な方々とのコラボ企画を通して、障害者だけではなく老若男女が楽しめる取り組みを実施し、真のインクルーシブ地域を目指したいです。

- 主な活動報告

– 全69回(前年度45回 53%増)

前年度数値目標 40回 新年度目標 70回

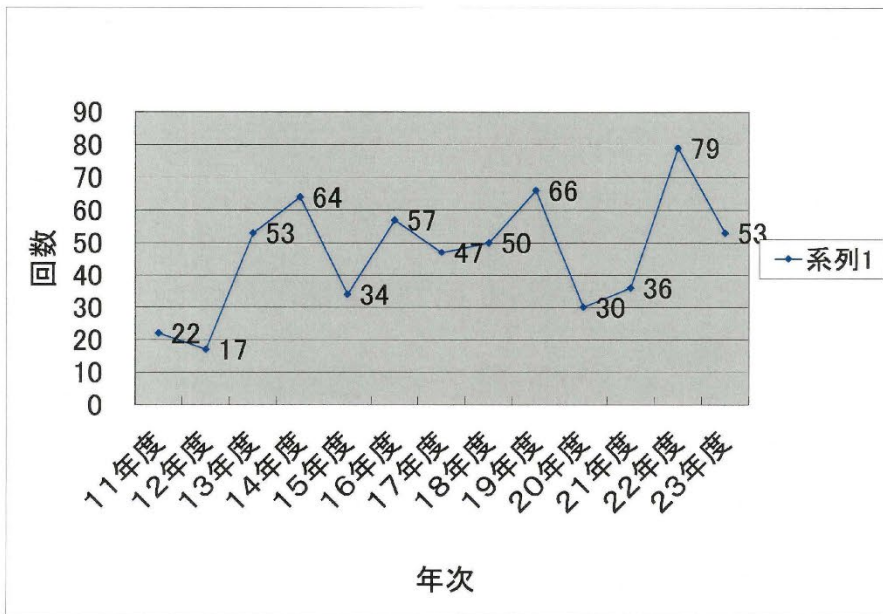
- | | | |
|--------|------------------|-----------|
| • 地域交流 | 59回(前年度32回 84%増) | 新年度目標 60回 |
| • ボッチャ | 2回(前年度5回 60%減) | 新年度目標 5回 |
| • サッカー | 8回(前年度6回 33%増) | 新年度目標 5回 |





2023年度 障害観変革事業報告(1)

- 成果
 - 例年どおり小中学校への福祉教育や福祉施設での重訪研修に取り組みました。
 - 地域生活塾の後半戦組も滞りなく実施できました。
 - 平和堂やさざなみタウンでのポッチャを用いた啓発活動も効果的でした。
 - 企業や地域の方々への取り組みは少なめとなりましたが、その分他の事業の取り組みが充実できました。
- 次年度への課題
 - 地域生活塾がない分、内部の取り組みを充実させていきたいです。
- 事業数 全53回(前年度79回 33%減)
前年度数値目標 70回 新年度目標 60回





2023年度 福祉に関する情報提供・相談事業報告(1)

・ 相談事業

－ 成果

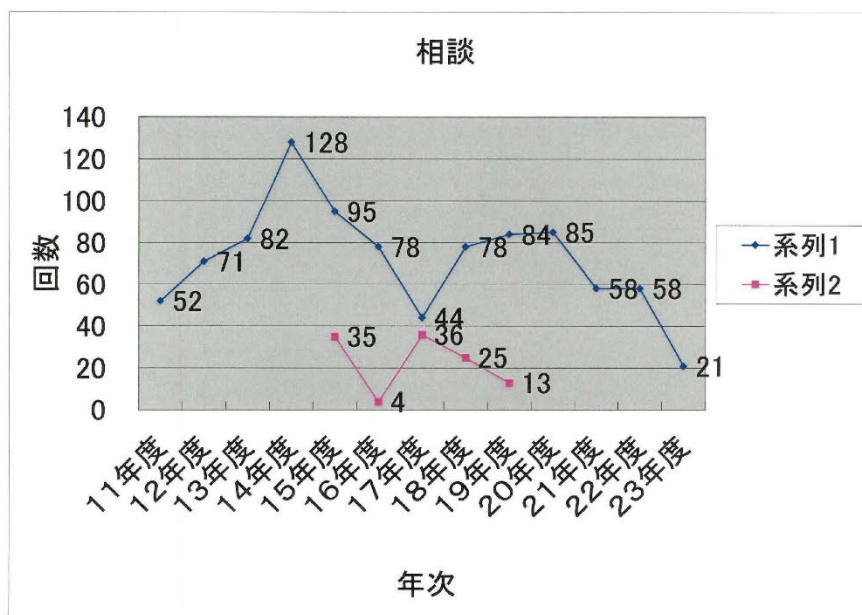
- ・ 新たに地域の高校へ入学された方の相談が複数回あり、修学旅行や試験での合理的配慮について助言を行いました。
- ・ 民生委員の改選があり、新たな方々と関係を構築しました。
- ・ 福祉事業所関係者らとの圏域のまちづくりについての取り組みは停滞気味となりました。

－ 次年度への課題

- ・ 関係者の異動などで、また新たな関係性の構築が重要となっていますが、新たな展開を期待したいです。

－ 主な活動報告

- ・ 相談件数 全21件(前年度58件) 64%減
前年度数値目標 60件 新年度目標 30件
- － 4月4件、5月0件、6月0件、7月3件、8月3件、9月1件、
10月2件、11月3件、12月2件、1月0件、2月3件、3月3件



2023年度 福祉に関する情報提供・相談事業報告(2)

・ 会議への出席

－ 成果

- ・ 自立支援協議会の再編に伴って、新たな会議が誕生し、過去最多の出席数となりました。
- ・ 中核構成員も多くが当事者で占めるようになり、「当事者参画の協議会」となってきました。
- ・ 一方で、滋賀県の会議は停滞気味で、条例の見直しもほとんどなく、期待を裏切られる形となりました。

－ 次年度への課題

- ・ 自立支援協議会で会長・副会長が当事者となり、次なる一手は知的障害の当事者を参画させることです。
- ・ 国スポ・障スポの開催に向けてUDの働きかけをよりいっそう強めたいです。

2023年度 福祉に関する情報提供・相談事業報告(3)

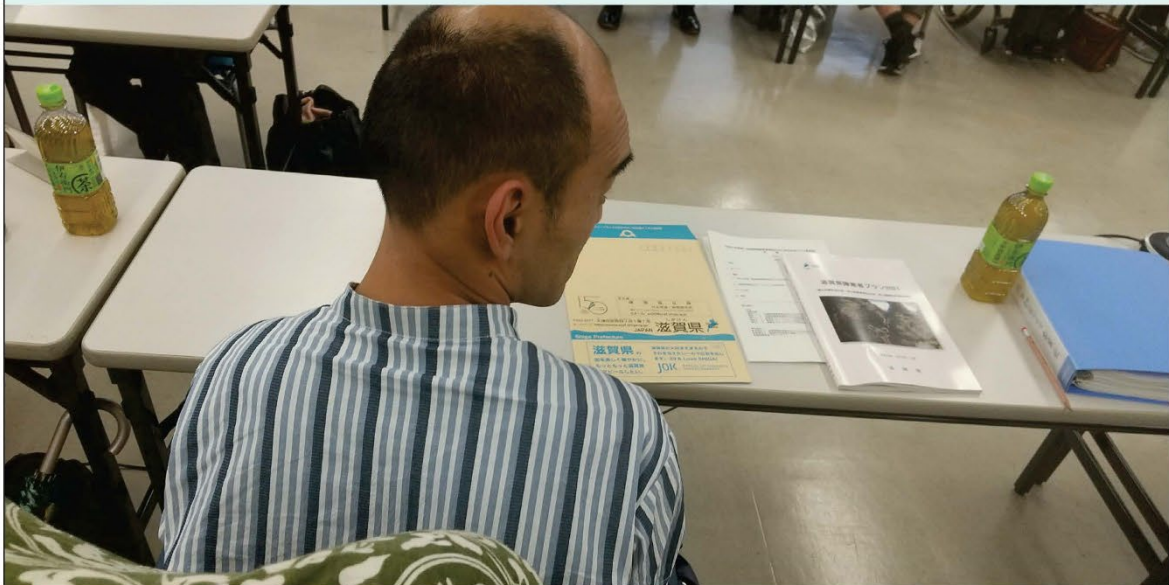
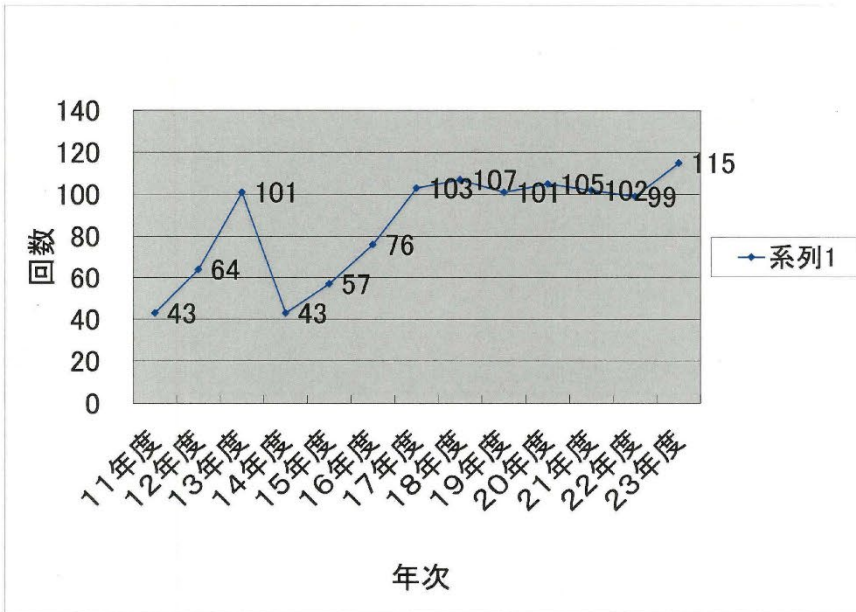
・ 主な活動

- 会議への出席 全115回(前年度99回 16%増)
前年度数値目標 100回 新年度目標 100回
 - ・ 自立支援協議会への出席 93回(前年度74回 26%増)

2023年度 福祉に関する情報提供・相談事業報告(4)

- その他の会議

- ・ 滋賀県障害者差別のない共生社会づくり委員会 1回(前年度1回)
- ・ 長浜市地域福祉活動計画推進委員会 1回(前年度5回)
- ・ 米原市権利擁護センター運営委員会 1回(前年度2回)
- ・ ぽてとファーム評議委員会 2回(前年度2回)
- ・ ユニバーサルデザイン検討推進専門分科会 1回(前年度2回)
- ・ 長浜市地域福祉計画検討委員会 0回(前年度2回)
- ・ 長浜成年後見・権利擁護センター運営委員会 4回(前年度6回)
- ・ 長浜市社会福祉協議会評議員会 1回(前年度2回)



2023年度 障害者団体のハブ的機能としての支援事業報告(1)

• 成果

- 数年前から考えると予想をはるかに超える事業の伸びを示しています。
- 県内外のイベント参加や内部イベントの開催、スナック、ネイルサロン、ボッチャ、サッカー、ピープルといった本当に多岐にわたる取り組みを行いました。
- 「障害者団体」ということを忘れるほどのバラエティに富んだ広がりがありました。
- 「気づかぬうちの共生社会運動」ができたのではないかと満足しています。

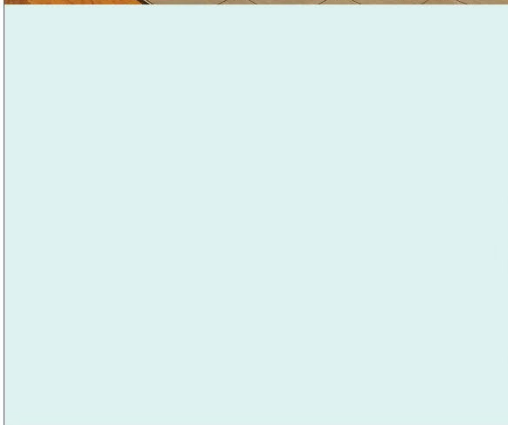
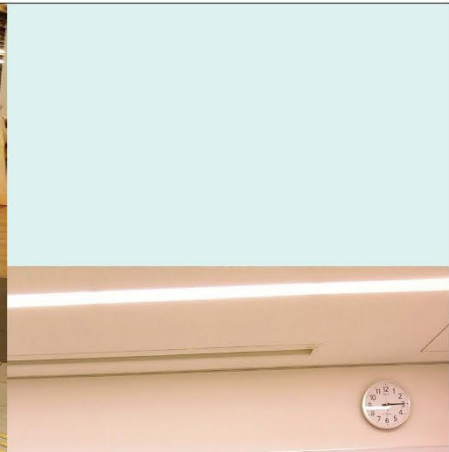
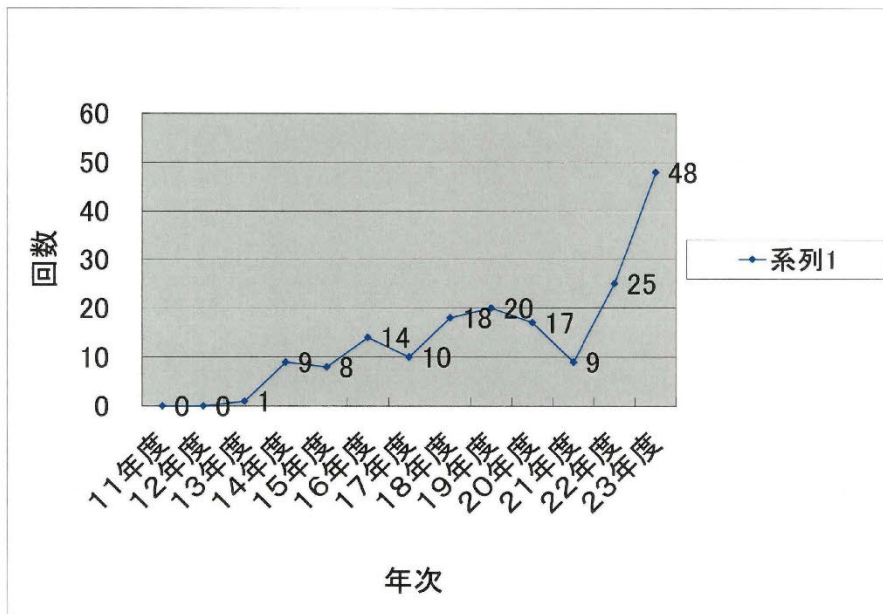
2023年度 障害者団体のハブ的機能としての支援事業報告(2)

• 次年度への課題

- 更なるコラボレーションの展開をし、UD運動の旗振り役として取り組みを推進していきたいです。
- 色々な方々と一緒に取り組むことで安定的な基盤も構築したいです。
- 車椅子ユーザー以外の当事者とも連携したいです。

• 主な活動報告

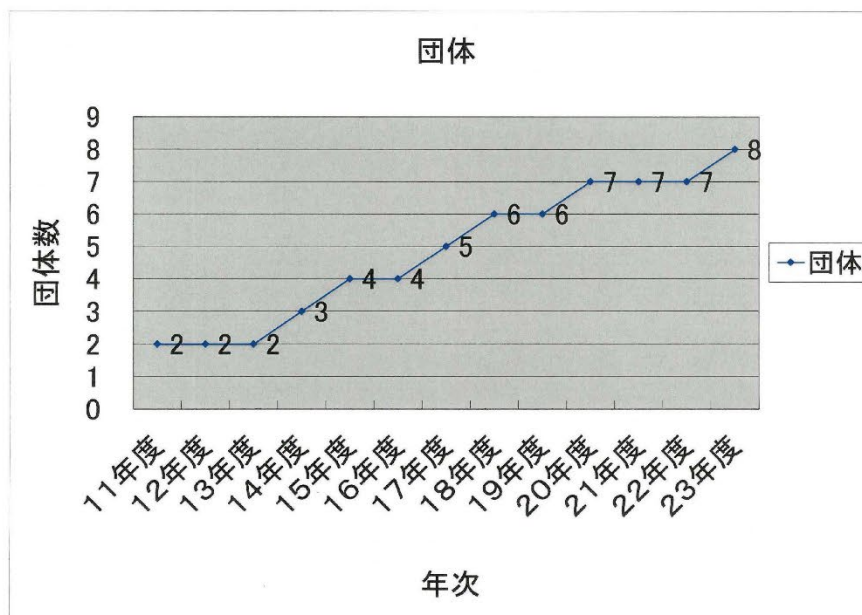
- 行事 48回(前年度25回 92%増)
前年度数値目標 25回 新年度目標 50回





2023年度 事務機能請負事業報告(1)

- **成果**
 - 1団体増え、**8団体の事務**を請け負いました。
 - 明確に報告できる事業はありませんが、**着実に活動を下支え**できていると思っています。
- **次年度への課題**
 - 「**ハブ的機能支援事業**」をいっそう強化する意味で、事務機能を請け負い、引き続きそれぞれの団体の「**プラットフォーム的役割**」を担ってまいります。
- **請負団体**
 - 共成会
 - F.C.LUTESTAR SHIGA
 - 彦根ILP
 - NEW BREESE 湖北
 - 滋賀県電動車椅子サッカー協会
 - オフィスゆうき
 - マルチスイッチ
 - **わだちプロジェクト**



2023年度 広報・出版に関する事業報告(1)

・ 成果

- － 広報誌『だんないの道』の発行
 - ・ 活動に注力した分、年間4回の発行となりました。
 - ・ 一方、内容としてはより充実した読んでいて楽しいものになったと思います。
- － ブログ・Facebook・インスタ・スローガン
 - ・ ブログの更新についても前年を若干下回りましたが、写真の編集に工夫をこらすなど、質は高められたと考えます。
 - ・ 長袖ユニフォームを作製し、各イベントにおける一体感の高まりにつながりました。

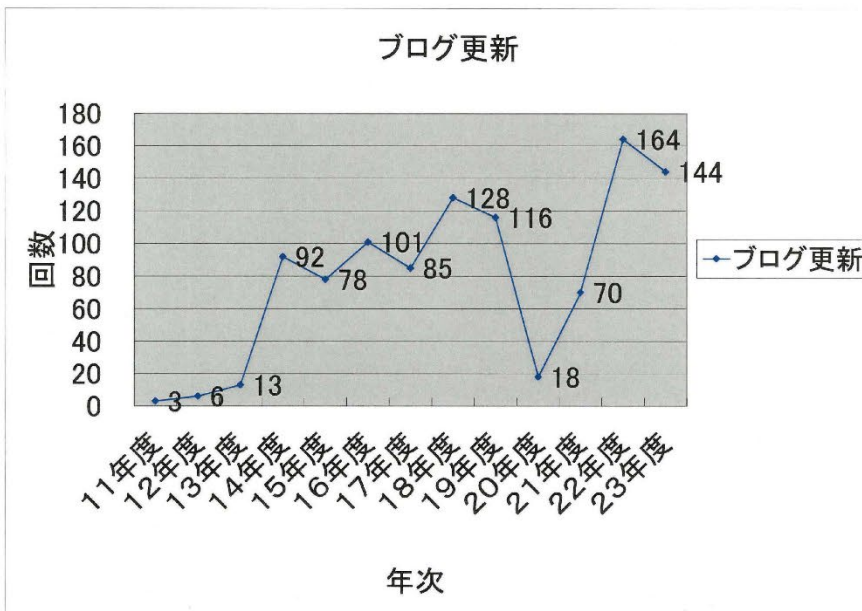
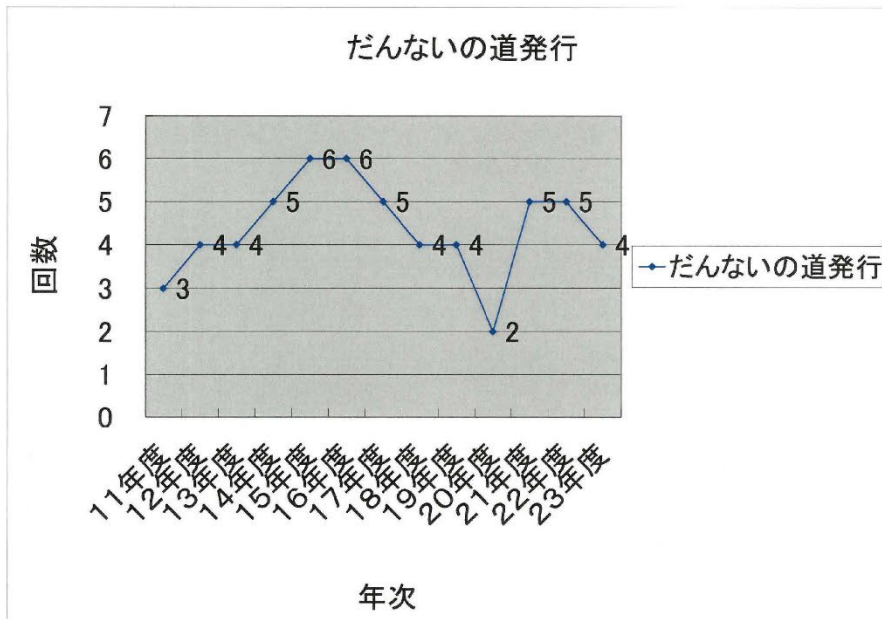
2023年度 広報・出版に関する事業報告(2)

・次年度への課題

- だんないの道
 - ・年間4回の発行は下回らないように活動の合間に取り組みたいです。
- ブログ・Facebook・インスタ・スローガン
 - ・引き続き魅力的な発信を心がけます。
- インフォメーション
 - ・「わだちプロジェクト」の横断幕やスポーツタオルの作製にとりかかります。

2023年度 広報・出版に関する事業報告(3)

- 発行 全4回(前年度5回)
 - 前年度数値目標 5号 新年度目標 5号
 - ・だんないの道 第55号 2023年4月17日
 - ・だんないの道 第56号 2023年7月26日
 - ・だんないの道 第57号 2023年11月16日
 - ・だんないの道 第58号 2024年2月2日
- ブログ更新 144回(前年度164回) 12%減
 - 前年度目標 120回
 - 新年度目標 120回
 - 取材 3回(前年度3回)



NPO法人CILだんない13周年記念事業

新しいとし ユニバーサルデザイン推進の年へ

～わたSIGA輝く国スポ・障スポ2025を契機として～

だんないを設立し、13年が経ちました。滋賀県では2025年に開催される国民スポーツ大会・障スポ大会に向けて、様々な準備が着々と進んでいます。実施会場はもちろん、周辺エリア等のユニバーサルデザイン化が期待されることです。昨年には、「滋賀ユニバーサルデザイン行動指針」が改定され、ユニバーサルデザイン推進に向けた考え方や方向性が示されました。大阪では、万国博覧会も開催され、関西地区として2025年はユニバーサルデザインに向けたスピードアップへの試金石にしたいものです。そこで今回シンポジウムでは、「滋賀ユニバーサルデザイン行動指針」策定委員会のメンバーの方に基調講演とパネルディスカッションをお願いし、今後の湖北地域や滋賀県のユニバーサルデザインのまちづくりに向けて考え合う時間になりたいと思います。

2025年、ユニバーサルデザインが単なるスローガンでは終わらずに、実効性のあるまちづくりへと発展するためには、どうすればよいかを皆さんと一緒に考えていきたいです。

滋賀県共催

《第一部：講演》14時10分～14時55分 手話通訳あり

尾上 浩二 氏（認定NPO法人OPI日本会議 副議長）

《第二部 パネルディスカッション》15時10分～16時45分

パネリスト

- 松本 正志 氏（社会福祉法人 滋賀県聴覚障害者福祉協会湖北みみの里所長）
- 太田 千恵子 氏（特定非営利活動法人 滋賀県有難者協会常務理事）
- 田中 康博 氏（滋賀県健康医療福祉部健康福祉政策課 主幹兼係長）
- 美濃部 裕道 氏（NPO法人CILだんない）


コーディネーター
北野 誠一 氏（西宮市社会福祉協会共生のまちづくり研究研修所 所長）

モデレーター
尾上 浩二 氏


参加無料

開催日時 2024年3月23日（土）14時～17時
会場 勤労者福祉会館「臨湖」 長浜市港町4番9号
連絡先 〒529-0423 長浜市木之本町千田681-4
担当者 美濃部 裕道
電話番号 (0749)50-3639

ちょこっと紹介！だんないブログ。



だんないのブログ記事のサムネイル1



だんないのブログ記事のサムネイル2

だんないのブログ記事のスクリーンショット



NPO法人CIL だんない

トップ
だんないとは
ある一日
求人募集
法人概要
お問い合わせ

「だん」の「ない」社会へ

だんない



コードからアクセス



こちらのQRコードからアクセス



活 動 計 算 書

(単位：円)

NPO法人C I Lだんない

自 令和5年4月1日 至 令和6年3月31日

経	常 収 益		
	受取会費		246,000
	正会員受取会費	195,000	
	賛助会員受取会費	50,000	
	受取入会金	1,000	
	受取寄附金		99,000
	受取寄附金	99,000	
	事業収益		73,925,163
	受託事業収益	73,925,163	
	その他の収益		422,480
	受取利息	64	
	雑収益	422,416	
経	常 収 益 計		74,692,643
経	常 費 用		
	事業費		
	人件費		54,666,176
	支払報酬	946,488	
	給料手当	40,420,362	
	法定福利費	12,982,686	
	福利厚生費	316,640	
	その他経費		11,250,649
	諸謝金	675,500	
	印刷製本費	1,616,145	
	車両費	440,196	
	通信運搬費	2,545,174	
	消耗品費	1,107,027	
	水道光熱費	596,642	
	賃借料	240,000	
	保険料	1,845,080	
	諸会費	449,484	
	租税公課	145,150	
	支払手数料	47,296	
	委託費	224,400	
	支払利息	411,599	
	雑費	906,956	
	事業費計		65,916,825
	管理費		2,060,614
	人件費		0
	人件費	0	
	その他経費		2,060,614
	減価償却費	2,060,614	
	管理費計		2,060,614
経	常 費 用 計		67,977,439
当	期 経 常 増 減 額		6,715,204
経	常 外 収 益		0
	経常外収益	0	
経	常 外 収 益 計		0
経	常 外 費 用		0
	経常外費用	0	
経	常 外 費 用 計		0
当	期 経 常 外 増 減 額		0
税	引 前 当 期 正 味 財 産 増 減 額		6,715,204
	前期繰越正味財産額		7,371,996
次	期 繰 越 正 味 財 産 額		14,087,200

貸借対照表

NPO法人C I Lだんない
全事業所

(単位：円)
令和6年3月31日現在

資 産 の 部		
流動資産		
現金預金		13,127,970
普通預金	10,327,970	
定期積金	2,800,000	
未収金		12,009,941
流動資産合計		25,137,911
固定資産		
有形固定資産		
建物	7,493,567	
建物附属設備	1	
車両運搬具	3,225,233	
機械及び装置	114,752	
什器備品	177,829	
無形固定資産		521,400
ソフトウェア	521,400	
固定資産合計		11,532,782
資産合計		36,670,693
負 債 の 部		
流動負債		
未払金		4,970,389
短期借入金		223,104
一年以内返済予定長期借入金		3,042,000
流動負債合計		8,235,493
固定負債		
長期借入金		14,348,000
固定負債合計		14,348,000
負債合計		22,583,493
正 味 財 産 の 部		
前期繰越正味財産額		7,371,996
当期正味財産増減額		6,715,204
正味財産合計		14,087,200
負債及び正味財産合計		36,670,693

財務諸表の注記

NPO法人C I Lだんない

令和6年3月31日 現在

【重要な会計方針】

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。

(1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産・無形固定資産：定額法

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

【事業費の内訳】

事業費の内訳は別紙のとおりです。

【固定資産の増減内訳】

(単位：円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産						
建物	11,684,477	0	0	11,684,477	-4,190,910	7,493,567
建物附属設備	17,043,359	222,750	0	17,266,109	-17,266,108	1
車両運搬具	6,797,322	2,232,770	0	9,030,092	-5,804,859	3,225,233
機械及び装置	327,861	0	0	327,861	-213,109	114,752
什器備品	316,140	0	0	316,140	-138,311	177,829
無形固定資産						
ソフトウェア	782,100	0	0	782,100	-260,700	521,400
合計	36,951,259	2,455,520	0	39,406,779	-27,873,997	11,532,782

【借入金の増減内訳】

(単位：円)

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
長浜信用金庫	19,964,000	0	2,574,000	17,390,000
美濃部裕道	324,835	1,418,269	1,520,000	223,104
合計	20,288,835	1,418,269	4,094,000	17,613,104

事業費の内訳(別紙)

(単位:円)
令和6年3月31日 現在

NPO法人C I Lだんない

科目	障害者サービスおよび介護者派遣事業	ヘルパー育成事業	障害者の権利擁護事業	障害者の地域における自立生活保障事業	余暇活動保障事業	障害観変革事業
(人件費)						
支払報酬	946,488					
給与手当	40,420,362					
法定福利費	12,982,686					
福利厚生費	316,640					
人件費計	54,666,176	0	0	0	0	0
(その他経費)						
諸謝金	675,500					
印刷製本費	1,616,145					
車両費	440,196					
通信運搬費	2,423,627					
消耗品費	1,107,027					
水道光熱費	596,642					
賃借料	240,000					
保険料	1,845,080					
諸会費	449,484					
租税公課	145,150					
支払手数料	47,296					
委託費	224,400					
支払利息	411,599					
雑費	906,956					
その他経費計	11,129,102	0	0	0	0	0
合計	65,795,278	0	0	0	0	0

科目	福祉に関する情報提供・相談事業	障害者団体のハブ的機能としての支援事業	事務機能請負事業	広報・出版に関する事業	上記の事業を達成するための事業	合計
(人件費)						
支払報酬						946,488
給与手当						40,420,362
法定福利費						12,982,686
福利厚生費						316,640
人件費計	0	0	0	0	0	54,666,176
(その他経費)						
諸謝金						675,500
印刷製本費						1,616,145
車両費						440,196
通信運搬費				121,547		2,545,174
消耗品費						1,107,027
水道光熱費						596,642
賃借料						240,000
保険料						1,845,080
諸会費						449,484
租税公課						145,150
支払手数料						47,296
委託費						224,400
支払利息						411,599
雑費						906,956
その他経費計	0	0	0	121,547	0	11,250,649
合計	0	0	0	121,547	0	65,916,825

財 産 目 録

NPO法人C I Lだんない
全事業所

(単位：円)
令和6年3月31日現在

資 産 の 部		
流動資産		
現金預金		
普通預金		10,327,970
ゆうちょ銀行	1,982,082	
ゆうちょ銀行 振替口座	247,901	
長浜信用金庫	8,097,987	
定期積金		2,800,000
長浜信用金庫	2,800,000	
売上債権		
未収金		12,009,941
未収会費	70,000	
未収金(国保連)	11,939,941	
流動資産合計		25,137,911
固定資産		
有形固定資産		
建物		7,493,567
新館	6,287,567	
本館	1,206,000	
建物附属設備		1
車両運搬具		3,225,233
機械及び装置		114,752
什器備品		177,829
無形固定資産		
ソフトウェア		521,400
固定資産合計		11,532,782
資 産 合 計		36,670,693
負 債 の 部		
流動負債		
未払金		4,970,389
短期借入金		223,104
美濃部裕道	223,104	
一年以内返済予定長期借入金		3,042,000
長浜信用金庫	3,042,000	
流動負債合計		8,235,493
固定負債		
長期借入金		14,348,000
長浜信用金庫	14,348,000	
固定負債合計		14,348,000
負 債 合 計		22,583,493
正 味 財 産		14,087,200

特定非営利活動に係る事業会計損益計算書

NPO法人C I Lだんない
全事業所

(単位：円)

自 令和5年4月1日 至 令和6年3月31日

経常収益			
受取会費			
正会員受取会費	195,000		
賛助会員受取会費	50,000		
受取入会金	1,000		
受取寄附金			
受取寄附金	99,000		
事業収益			
受託事業収益	73,925,163		
その他の収益			
受取利息	64		
雑収益	422,416		
経常収益計			74,692,643
経常費用			
事業費			
人件費			54,666,176
支払報酬	946,488		
給料手当	40,420,362		
法定福利費	12,982,686		
福利厚生費	316,640		
その他経費			11,250,649
諸謝金	675,500		
印刷製本費	1,616,145		
車両費	440,196		
通信運搬費	2,545,174		
消耗品費	1,107,027		
水道光熱費	596,642		
賃借料	240,000		
保険料	1,845,080		
諸会費	449,484		
租税公課	145,150		
支払手数料	47,296		
委託費	224,400		
支払利息	411,599		
雑費	906,956		
事業費計			65,916,825
管理費			
人件費			0
その他経費			2,060,614
減価償却費	2,060,614		
管理費計			2,060,614
経常費用計			67,977,439
当期経常増減額			6,715,204
経常外収益			0
経常外収益			0
経常外収益計			0
経常外費用			0
経常外費用			0
経常外費用計			0
当期経常外増減額			0
税引前当期正味財産増減額			6,715,204
前期繰越正味財産額			7,371,996
次期繰越正味財産額			14,087,200

監査報告書

令和6年5月22日

NPO 法人 CIL だんない
代表 美濃部 裕道 殿

監 事 藤 崇之 

私は、令和5年4月1日から令和6年3月31日までの事業年度における会計及び業務の監査を行い、次のとおり報告する。

1 監査の方法の概要

- (1) 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて計算書類の正確性を検討した。
- (2) 業務監査について、理事会及びその他の会議に出席し、理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて業務執行の妥当性を検討した。

2 監査意見

- (1) 活動計算書、貸借対照表及び財産目録は、会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支及び財産の状況を正しく示していると認める。
- (2) 事業報告書の内容は真実であると認める。
- (3) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実はないと認める。

以上

活動報告

5月1日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 事務局会議
6日	元気マンサロン
9日	優生裁判結審
12日	ネイルサロン
17日	生き生きサロン
18日	みんなでつくるスナックO(わ)
19日	だんないBBQ
20日	元気マンサロン
21日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 地域移行推進班会議
22日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 当事者サポーター推進班会議
	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 地域生活塾プロジェクト会議
23日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 権利擁護・虐待防止班会議
25日	さつまいも苗植え
27日	だんない総会
28日	わだちプロジェクト バリアフリー調査・啓発 in高島市役所
6月1日	支援者塾
3日	元気マンサロン
5日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 事務局会議
	長浜市長面談
	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 学齢期班会議
6日	わだちプロジェクト バリアフリー調査・啓発 in彦根
8日	ぽてとファーム評議委員会
10日	ケース会議
11日	企画会議
13日	映画鑑賞会
15日	卒塾生同窓会
	みんなでつくるスナックO(わ)
17日	元気マンサロン
18日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 権利擁護班 inゆめホール
19日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 運営委員会会議
	長浜活動計画
20日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 重介護・医療ケア検討班会議
21日	生き生きサロン
	だんない喫茶
23日	ピープルBBQ

24日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 学齢期班会議
24~25日	職員研修
26日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 当事者サポーター推進班会議
	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 地域生活塾プロジェクト会議
	長浜市社会福祉協議会 評議員会
27日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 権利擁護・虐待防止班会議
28日	放デイ・児童発達支援連絡会
30日	ネイルサロン
7月1日	元気マンサロン
3日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 事務局会議
3~5日	木之本中学校職場体験
11日	ひだまり重度訪問介護従事者研修
15日	映画鑑賞会
16日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 地域移行推進班会議
18日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 重介護・医療ケア検討班会議
19日	生き生きサロン
	ひだまり重度訪問介護従事者研修
20日	卒塾生同窓会
	みんなでつくるスナック〇(わ)
22日	元気マンサロン
24日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 当事者サポーター推進班会議
	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 地域生活塾プロジェクト会議
25日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 権利擁護・虐待防止班会議

ちょこっと紹介！ だんないブログ。



npodannai 5月9日、大阪高等裁判所で滋賀県旧優生保護法情報公開請求訴訟の結審がありました。判決は一審とほぼ同じで条件つき公開で一箇所が公開となった一方、所有田畑の面積が非公開となり、プラスマイナスゼロで一審判決と同等の内容となりました。

手術の経緯など機微に関わる情報公開を求めていた原告としては不満の残る結果となりましたが、それでも8割の公開内容には変わりません。旧優生保護法訴訟を戦う方々にとっては良い判例になるので上告するか結審を受け入れるか、難しい判断が迫られます。ただ、滋賀県はどうせ控訴をするでしょう。長い戦いとなりそうです。注視したいと思います。



npodannai 5月17日、自立支援協議会の権利擁護・虐待防止班で黒壁周辺のタウンウォッチを行いました。2025年に国スポ・障スポが開催されるのを機に、ユニバーサルデザインやバリアフリーの機運を高めようと長浜市周辺を啓発しようと実施することになりました。日頃気になるお店も周ることができて良かったです。



2024/5/19

だんないBBQ 2024



npodannai 5月19日、だんないBBQ 2024を開催しました。

雨予報の中、外での設営は最低限に、食事スペースを中心にセッティングしました。

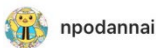
それもあって、落ち着いて食事を楽しみ、ゆっくりお話しできました。

少なめかと思いましたが、たくさんの方にお越しいただくことができ、嬉しいです！

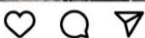
準備・片付けが年々早くなっていて、美濃部が木村徹さんにマッサージを受けられるほど余裕が生まれていることに、感慨深さを覚える今日この頃です



npodannai 5月25日、さつまいも苗植えを地域の方々のご協力のもと、子供会の皆さんと行いました😊
10名ほどの子供さんたちが来てくれて、晴れ渡る清々しい気候の中で賑やかな時間を過ごすことができました🌞
5ヶ月後の芋掘りが楽しみです💕
明日から水やりに励みたいと思います。
皆さん、ご協力ありがとうございました！



わだちプロジェクト バリアフリー調査・啓発& 高島市自立支援協議会に お招きしていただき参加

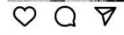


npodannai 5月28日、わだちプロジェクトとして高島市内の道の駅でのバリアフリー調査を行い、共生社会サポーターステッカー配布活動も行いました。

味も雰囲気も、店員さんの対応も良い飲食店に大満足です！

午後からは高島圏域の自立支援協議会で、湖北圏域の自立支援協議会の取り組みを紹介する研修会に当事者としてお招きをされ参加しました。

改めて、社会モデルと当事者参画の意義深さを感じました。



npodannai 6月1日、第1回わだちプロジェクト支援者塾を開催しました。

普段は障害当事者の支援者として仕事や活動をされている方々に、黒壁スクエア周辺を車椅子に乗ってもらって介助者役に指示をしながら、食事や買い物を体験してもらうという企画です。

オープニングをさざなみタウンで行った後、メイン会場の黒壁スクエア・金屋公園では狭いドア幅を電動車椅子で通り抜ける体験や、厳しい傾斜のスロープを上がり下りする体験をしていただきました。

一般の観光客や市民の方々20名ほどにも体験していただきました。

体験後には、つるやさんが特別につくっていただいた「サンドWADACHI」と、わだちプロジェクトの思いをしたためたメッセージカードを参加賞としてお渡ししました。

車椅子のタイヤで付けた「わだち」の跡が、何度も通ることによっていつしか「道」となるように、これらの取り組みがバリアフリーやユニバーサルデザインへの大きな道すじとなることを信じて、活動を続けていきたいです。

ご協力いただいたつるやさんをはじめ、お手伝いいただいた皆様に感謝申し上げます。

その後、「お疲れさま会」と称して行った木村寛子さんのバーズデーサプライズも決行！

入念な計画の上で実施した甲斐もあって、ドッキリ大成功！

良い一年になりますように♪

そんなこんなで内容の濃い1日となり、大満足でした！
みなさん、長い一日お疲れ様でした！！



題字・イラスト 福井 美里

— 編集後記 —

いよいよ梅雨に入りましたが、皆様におかれましてはお変わりなくお過ごしのことと拝察いたします。もちろん、「お変わりなく」とは、お元気で健やかに、という意味です。

だんないの皆も、お陰様で元気に活動しており、代表・美濃部の述べた「理念」のもと、活動報告等でご紹介させていただいた通り、多くの活動を行っております。そのような意味では、「だんないさん、変わらないね…」と言われることのないよう、代表共々、前進してゆくべく意気込んでおります。

ところで、以前の歌の歌詞に…

「大切なのは 変わらないこと 変わっていくこと」
という一節がありました。その通りだな…と思いつつペンを置きます。今号もお読みいただき、ありがとうございました！

(編集部)

NPO 法人 CIL だんない

代表 美濃部裕道

副代表 中川佑希

理事 谷口健人、前田貴行、横山卓馬

郵便振替口座番号：ゆうちょ銀行木之本支店
00940-2-209115

加入者名 : NPO 法人 CIL だんない

〒529-0423

滋賀県長浜市木之本町千田681番4

TEL : 0749-50-3639

FAX : 0749-50-3961

URL : cil-dannai.jp

E-mail : info@cil-dannai.jp